



国際ロータリー第2520地区 Rotary International District 2520

クラブ創立 1968年2月12日

2019～20年度

国際ロータリーテーマ

ロータリーは

世界をつなぐ



ROTARY CONNECTS THE WORLD

大河原ロータリークラブ会報

例会日：毎週木曜日 12時30分 会長：藤江裕佳里 広報・ICO
 例会場：和洋亭 ぶざん 副会長：甘糟 仁 委員長：佐藤能文 マーク・ダニエル・マローニー
 柴田郡大河原町字新南25-18 幹事：佐々木由美子 副委員長：岡崎 隆 2019-20年度 ガバナー
 TEL 0224-51-1113 副幹事：武者 昌洋 委員：庄司 大 鈴木 賢 NO.1
 事務所：〒989-1245 大河原町字新南25-18 TEL0224-86-5901 FAX0224-86-5905 info@rotary-ogawara.com

2019年 9月19日(木)第2523回 夜間例会

会長あいさつ

会長 藤江 裕佳里

今晚は、今夜も皆様とともに元気に例会に参加できることを嬉しく思います。

さて、7月初めての例会の会長挨拶で我が大河原クラブのテーマは『繋がりを広げ、絆を深めよう』とお伝えしましたが、今日は「繋がり」についてお話し致します。

ロータリーの世界ではどうでしょうか。マーク・ダニエル・マローニー会長はロータリーの礎は繋がりとあると話をされています。ロータリーがシカゴに誕生した1905年、ロータリー生みの親ポールハリスは繋がりを求めて会合を始めた事を思い出して下さい。会合を始めた事を思い出して下さい。

毎週約1時間家族や友人職場以外で、年間では50回近く会う人が他にいらっしゃるでしょうか、ロータリーの繋がりは独特なものがあると思います。

私は、2005年1月ロータリー100周年の年、原田眞会長年度に大河原ロータリーに加えて頂き今まで活動を続けてまいりました。その中で今夜は高橋大志会員のお店での夜間例会ですので、高橋大志会員にどのように繋がりが広がって来たのかお話をしたいと思います。

2011-12年度44代 櫻井俊寛年度の幹事を務めさせていただいた時には東日本大震災の後で今思い返してもいろいろと変則的な運営のなか会員の皆様の日常生活もいろいろ大変な中、まさしく櫻井俊寛会長と現在は会員になられた高橋大志会員、大阪摂津ロータリー会員の持田成彦様の繋がりで思いがけなく亘理町立荒浜小学校、と長瀬小学校、荒浜中学校の震災支援を行う事が出来ました。

2012年5月8日に摂津ロータリークラブより7名の会員をお迎えし避難先の亘理町逢隈小学校を会場に贈呈式をおこない、そのお礼もかねて6月1日には家族会め15名で訪問、交流致しました。

その後もその繋がりで当時の樋上幸夫会長がおいでになったり、村上会長、岡崎会員が訪問したり、摂津ロータリーから桜の季節においでになったりと今も繋がりが継続されています。しかし、繋がりの大きな成果は高橋大志会員がその後大河原クラブに入会されたことかと思えます。

知ることは理解を深め、相手を理解することはお互いに友情に繋がります。

一人一人の小さな繋がりが地域へ更には世界に繋がっていくと考えます、繋がりを広げ、絆を深めましょう。本日の会長挨拶といたします。今夜は懇親を深めてください。

夜間例会 親睦委員会 in 炭火焼大ちゃん



“ 繋がりを広げ絆を深めましょう ”



“ 美味しかった！！ ご馳走様です ”

“ 締は蕎麦！写真撮るのも忘れてしまいました ”



「シェアド・リーダーシップ」それぞれの力を合わせて

大河原ロータリークラブ 藤江 裕佳里 会長



今夜は最高！

大河原RC-3150-

“ 爽やかな笑顔 ”

1 に親睦

2 に親睦

• • •

